



意思決定サポートセンター

一般社団法人 日本意思決定支援推進機構



# 認知症の人と家族を支えるエコシステム構築の取組

認知症にやさしい異業種連携協議会特別編

2020年7月8日

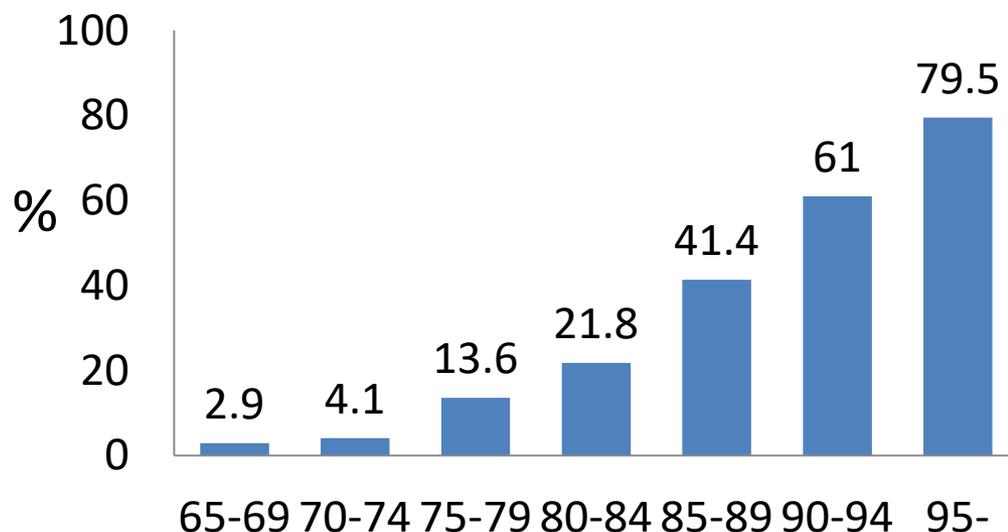
京都府立医科大学大学院医学研究科  
一般社団法人日本意思決定支援推進機構

成本 迅

- 認知症患者数 462万人
- 軽度認知障害 400万人



参考  
四国総人口414万人  
(2005年)

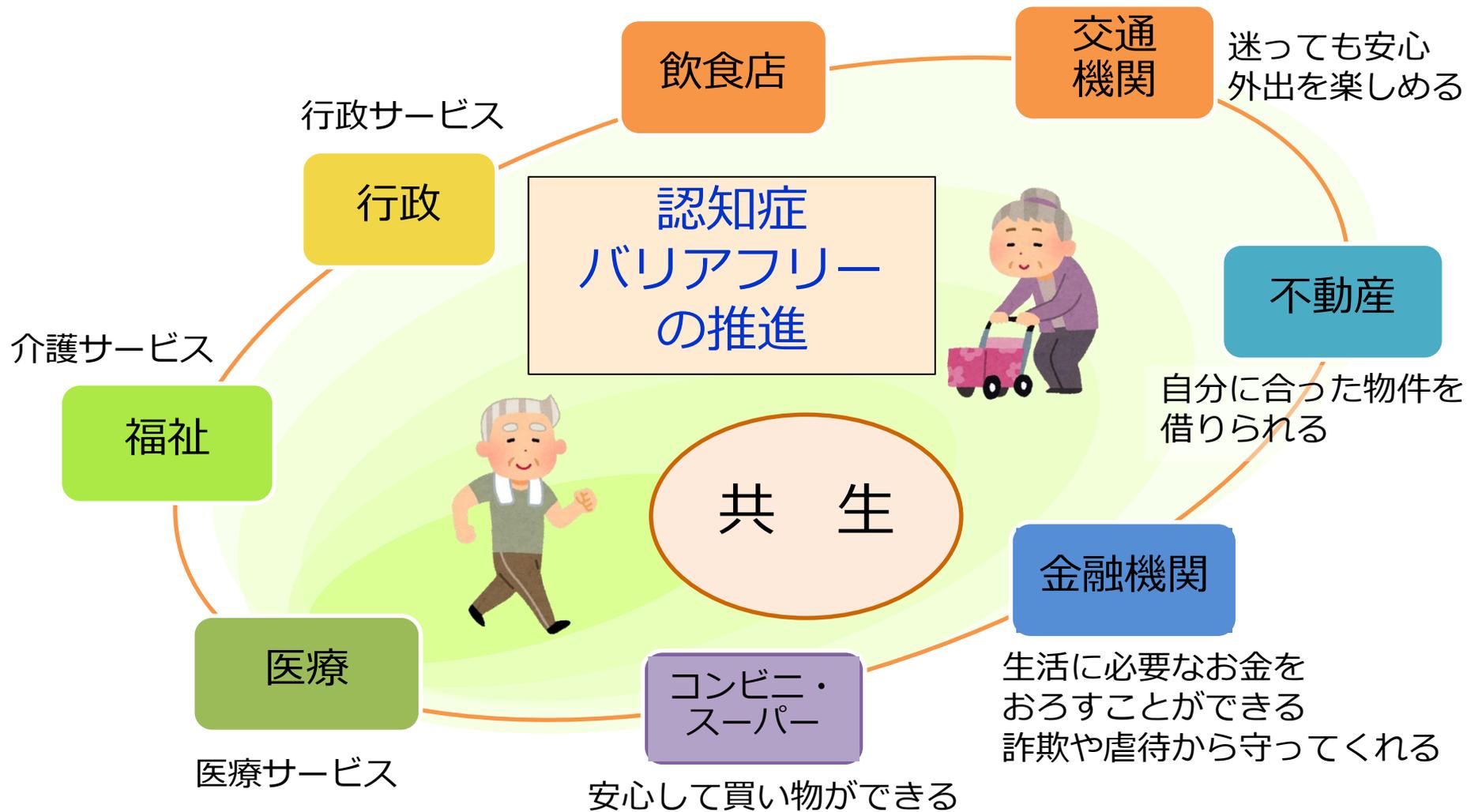


2010年の一人暮らし世帯は全体の30%を超えており、2035年には38%と予測されている。  
(国立社会保障・人口問題研究所)

厚生労働科学研究費補助金(認知症対策総合研究事業)  
総合研究報告書「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」(代表:朝田隆)2012年

# 多業種連携でつくる 認知症の人でも安心して生活できる街づくり

- 認知症の人でも利用できるお店／サービス
- 認知症に気づいてさりげなくサポート



# エコシステム

複数の企業が商品開発や事業活動などでパートナーシップを組み、互いの技術や資本を生かしながら、開発業者・代理店・販売店・宣伝媒体、さらには消費者や社会を巻き込み、業界の枠や国境を超えて広く共存共栄していく仕組み。

経済界のエコシステムでは、系列の違う複数の企業、時にはライバル関係にある企業が互惠関係を結ぶこともあり、この点で、生産・物流・販売など特定の活動で連携するアライアンスや、1つの商品を共同開発・共同製造するコラボレーションなどとは異なる。

中略

自然界の「生態系」が異質な構成要素によって良好な環境を維持させているように、多様な構成員の相互協力および平等な収益の循環が、エコシステムを健全に機能させる条件と見られる。

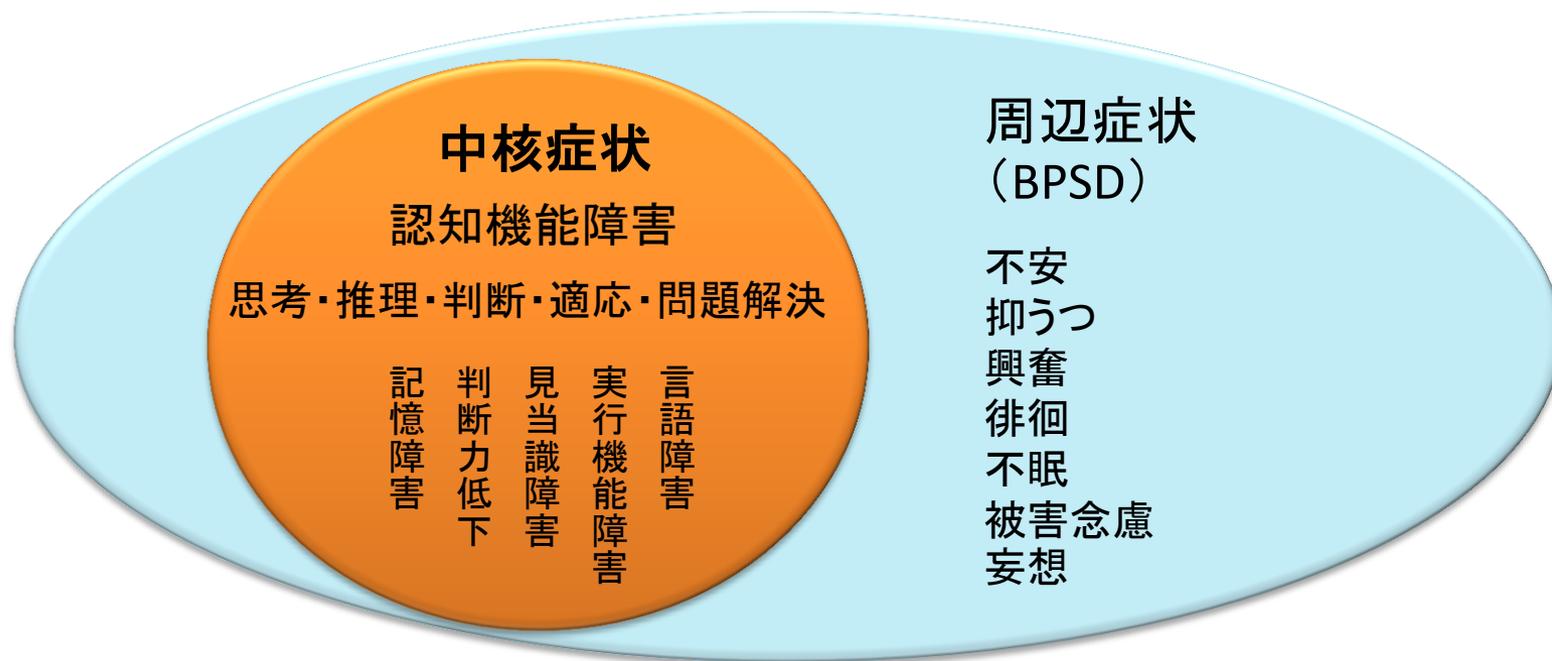
(コトバンク, 大迫秀樹 フリー編集者 / 2010年) 出典 (株)朝日新聞出版発行「知恵蔵」

# 認知症になって困ること(社会生活)

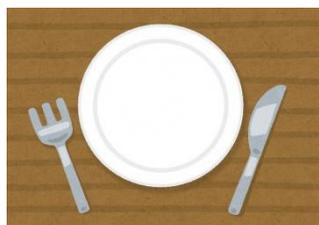
---

- 車の運転がうまくできなくなる
- 銀行でお金をおろすのが難しい
- 買い物の際に、何が必要か思い出せない
- 病院の受診手続きがわからない
- 治療の説明が理解できない
- 薬を飲むのを忘れる
- 役所での手続きをどうしたらいいかわからない
- 確定申告ができない
- マイナンバーの通知の紙をなくしてしまった

# 中核症状と周辺症状



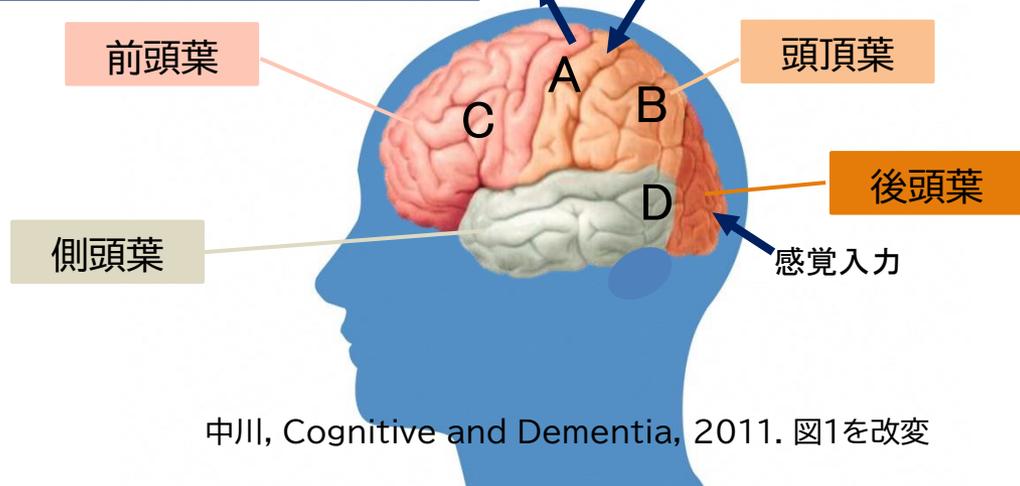
アルツハイマー型認知症	レビー小体型認知症
<p data-bbox="256 265 430 308"><b>症状</b></p> <p data-bbox="256 332 598 461">最近の出来事を忘れる（近時記憶障害）、日付や場所があやふやになる（失見当識）、ものの認識ができなくなる（失認）</p>  <p data-bbox="256 504 430 546"><b>その他の特徴</b></p> <p data-bbox="256 571 598 661">自分の障害の自覚がない、ちぐはぐな服装になってしまう、言葉が出ない</p>	<p data-bbox="979 265 1153 308"><b>症状</b></p> <p data-bbox="979 332 1321 389">幻視、錯視、立体の認知、最近の出来事を忘れる</p>  <p data-bbox="979 504 1153 546"><b>その他の特徴</b></p> <p data-bbox="979 571 1159 594">意識の変動がある</p>
血管性認知症	前頭側頭葉変性症
<p data-bbox="256 815 430 858"><b>症状</b></p> <p data-bbox="256 882 508 905">注意障害、実行機能障害</p>  <p data-bbox="256 1068 430 1110"><b>その他の特徴</b></p> <p data-bbox="256 1135 552 1158">自覚性低下、うつがみられる</p>	<p data-bbox="979 815 1153 858"><b>症状</b></p> <p data-bbox="979 882 1321 1011">人格変化、言葉の意味がわからない（意味性認知症）、話し方がぎこちない（進行性非流暢性失語）</p>  <p data-bbox="979 1068 1153 1110"><b>その他の特徴</b></p> <p data-bbox="979 1135 1321 1192">甘いものを好む、同じ動作や行動を繰り返す</p>



課題	メニューを考える	材料を揃える	材料を切る	材料を加工する	盛り付ける	洗う・片付ける
必要な能力	計画立案 食事の好みを思い出す 食材に関する知識	買い物 必要な食材を見つけ出す	調理器具の使用 方法 材料の取扱の知識の活用	味付け 適切な調理器具の使用	食器を選ぶ 適切な量の配分	手指の動き 片付け場所の知識
脳機能	C), 記憶	C), D), 記憶, 注意	A), B), D)	A), B), D)	A), B)	A), 記憶

行為・動作に関わる脳部位と役割

運動出力 感覚入力(体性感覚)



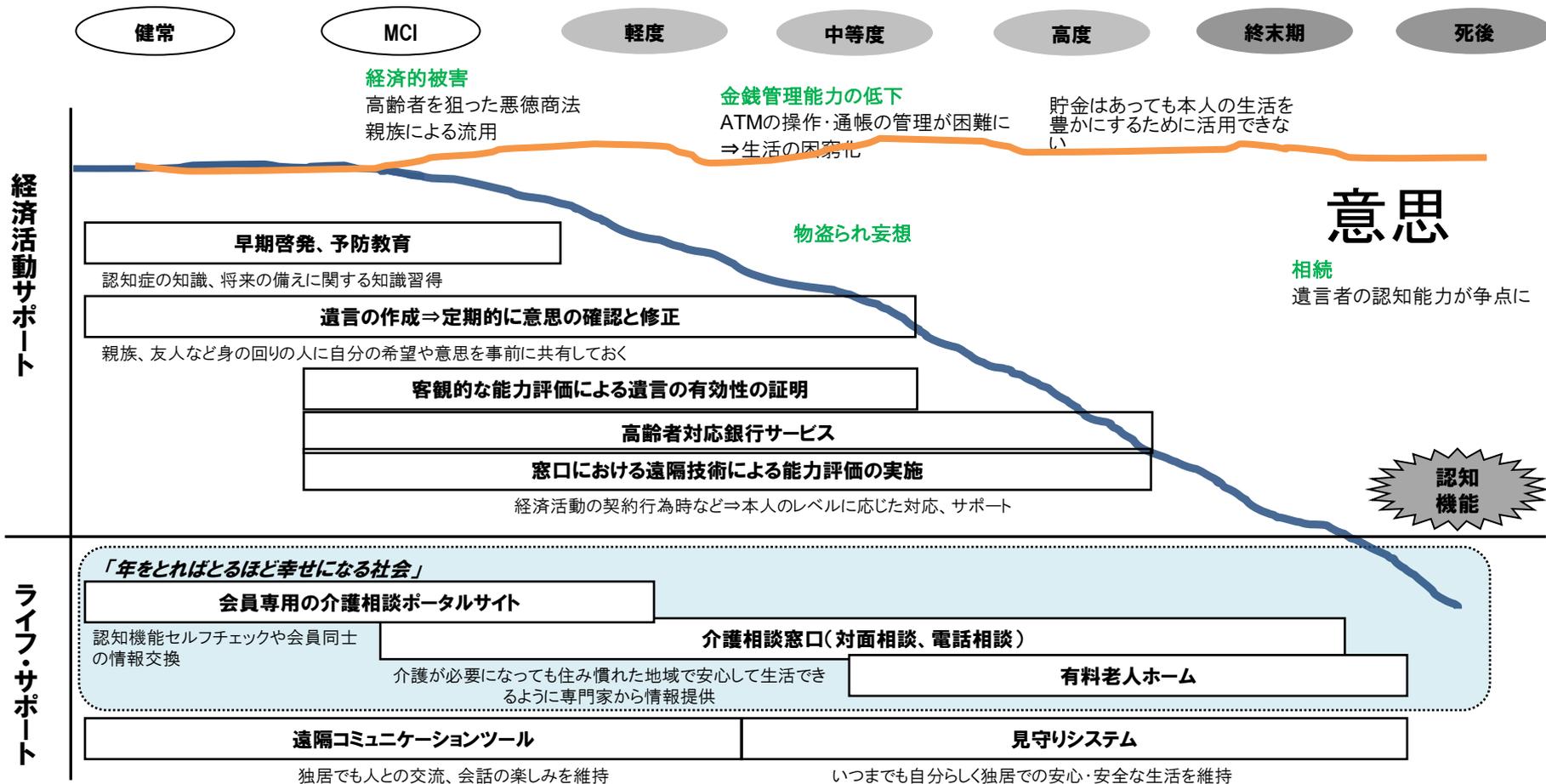
A) 指を曲げる、ものをつまむ

B) 感覚入力を適切に利用する  
 ・手と物の位置関係を把握する  
 ・着衣などのまとまりのある作業  
 ・道具を使用すること

C) タイミングよく動作を開始すること、不適切な動作を抑制すること

D) 道具を正しく認知すること

# 高齢者の人生経過図



# 財産管理と認知機能低下

健常

軽度認知障害

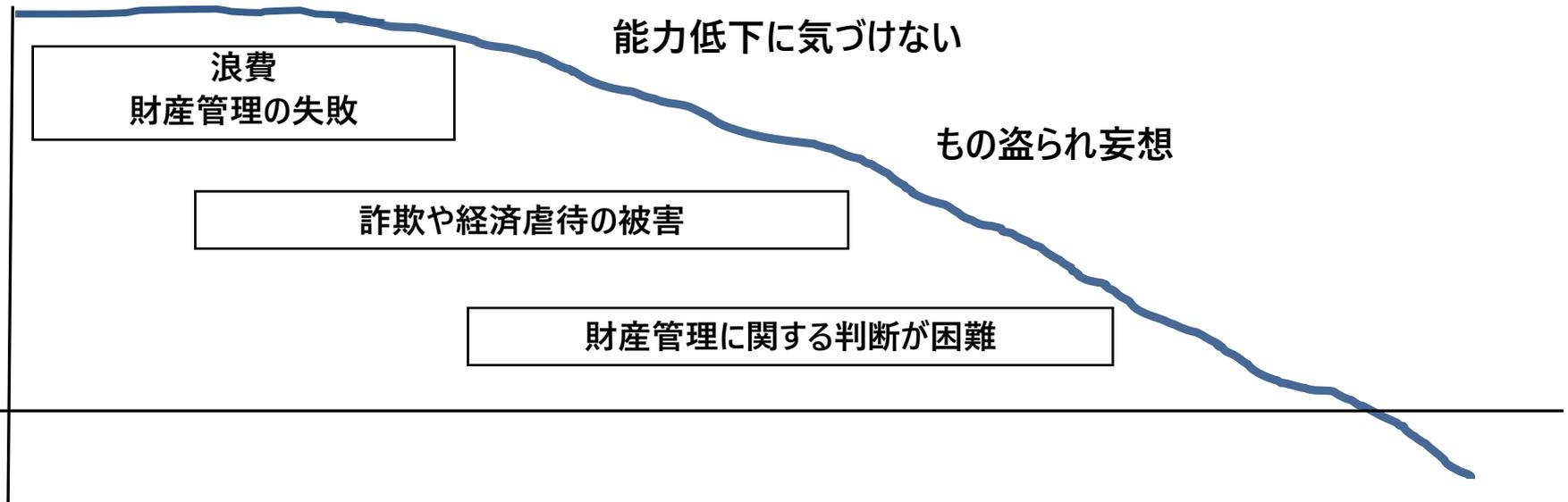
軽度認知症

中等度認知症

重度認知症

終末期

死後



もし100万人の高齢顧客がいたら、  
そのうち年間4000人が認知症を発症する  
(年間認知症発症率を 4/1000とした場合)



# 業種別の関わり

## ①若年期から継続的に関与

金融機関(銀行、保険)  
携帯電話、インターネットプロバイダー  
新聞・電気・ガス・水道・行政  
会社組織  
不動産会社(賃貸・デベロッパー)  
小売り(スーパー・コンビニ・商店・生協・百貨店・  
薬局)  
外食産業(喫茶店・ファミレス)  
理容・美容業、鍼灸・接骨院  
宅配業 公共交通機関 お寺・教会

## ②定年後に関与

信託銀行  
旅行会社  
病院  
鍼灸院・整骨院

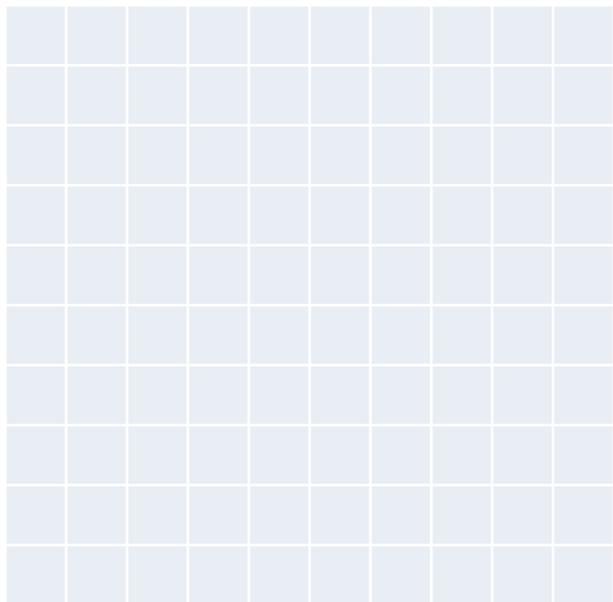
## ④認知症を発症してから関与

認知症専門医  
介護事業者  
弁護士・司法書士など(法定後見)

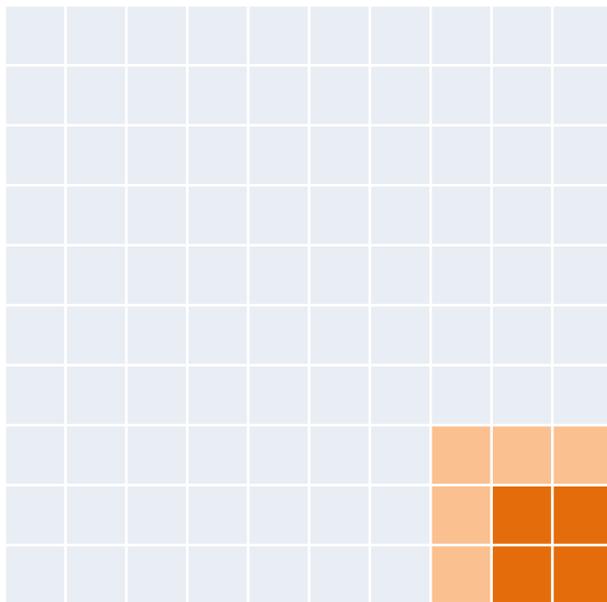
## ③高齢期から関与

かかりつけ医  
弁護士・司法書士(任意後見、遺言など)  
福祉用具  
葬儀会社  
有料老人ホーム  
介護付き高齢者住宅

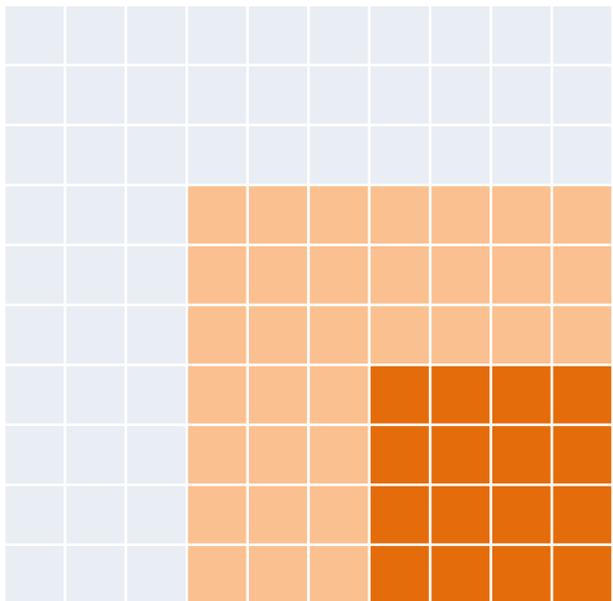
①



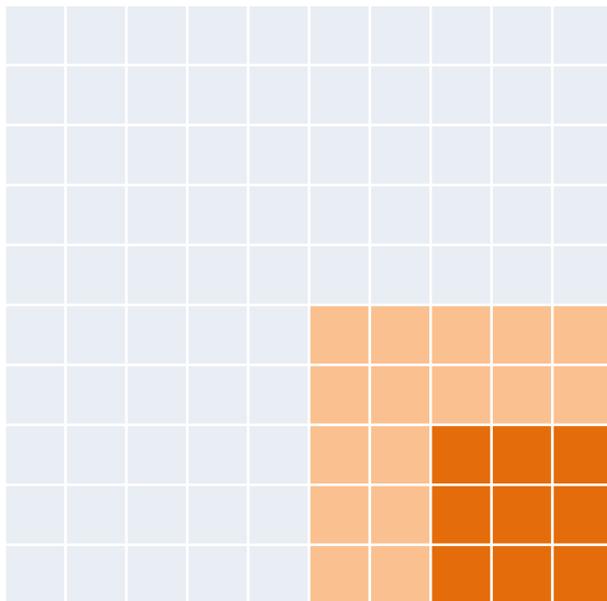
②



④



③



# エコシステム構築のボトルネック

## 高齢者側

高齢者のニーズは、「認知症になりたくない」「生活の固定コストを減らしたい」であり、「備え」に支出するモチベーションは低い。

認知症になってからは、情報が入りにくく、便利なモノやサービスがあっても探すことが難しい。

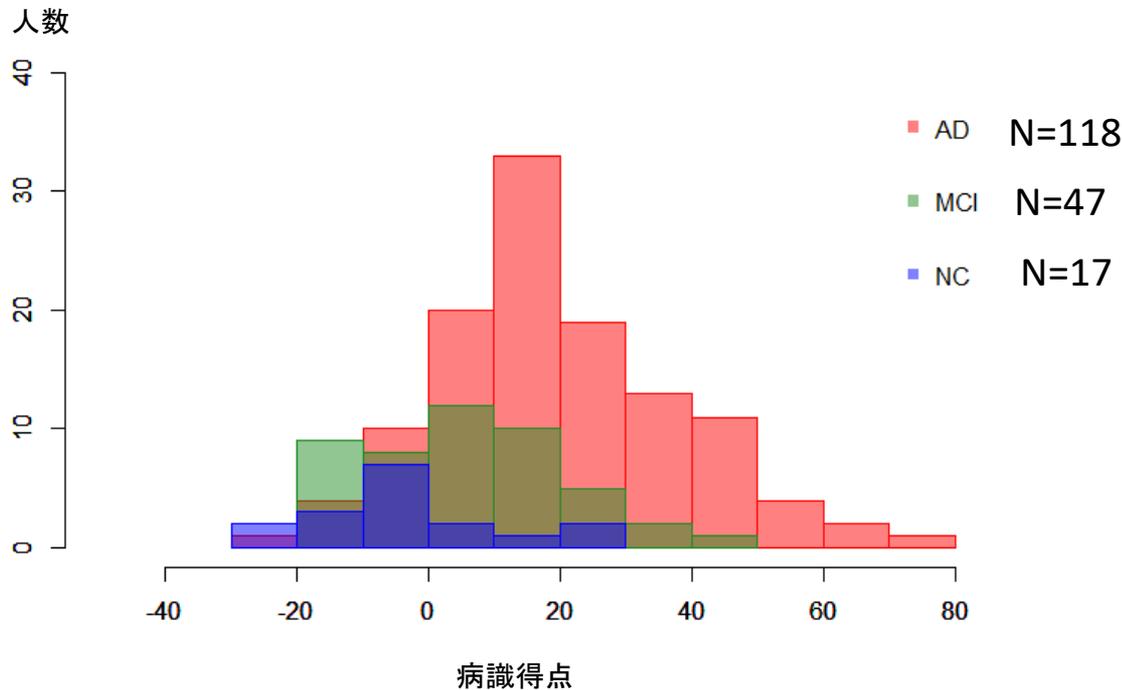
## 企業側

備えのサービスを開発しても使ってもらえない

認知症になってからの人向けのサービスは誰と契約したらいいかわからない、そもそも認知症の人がどこにいないかわからない。

# 地域で調査すると、認知機能低下のある高齢者で認知症として病院に受診したことがある人は30%程度

(Nakahori N, BMC Neurol, 2019)



記憶が低下していると思っている人は少ない

# より便利なモノやサービスが開発されるために

高齢者側



認知症になって生活に影響が出ていることが自分や家族に分かり、他の人とつながって情報が得られるようになる。

企業側



認知症になる前のニーズをつかみ、認知症になってからも顧客で居続けてもらうためのビジネスを考える

# エコシステム創出の基盤

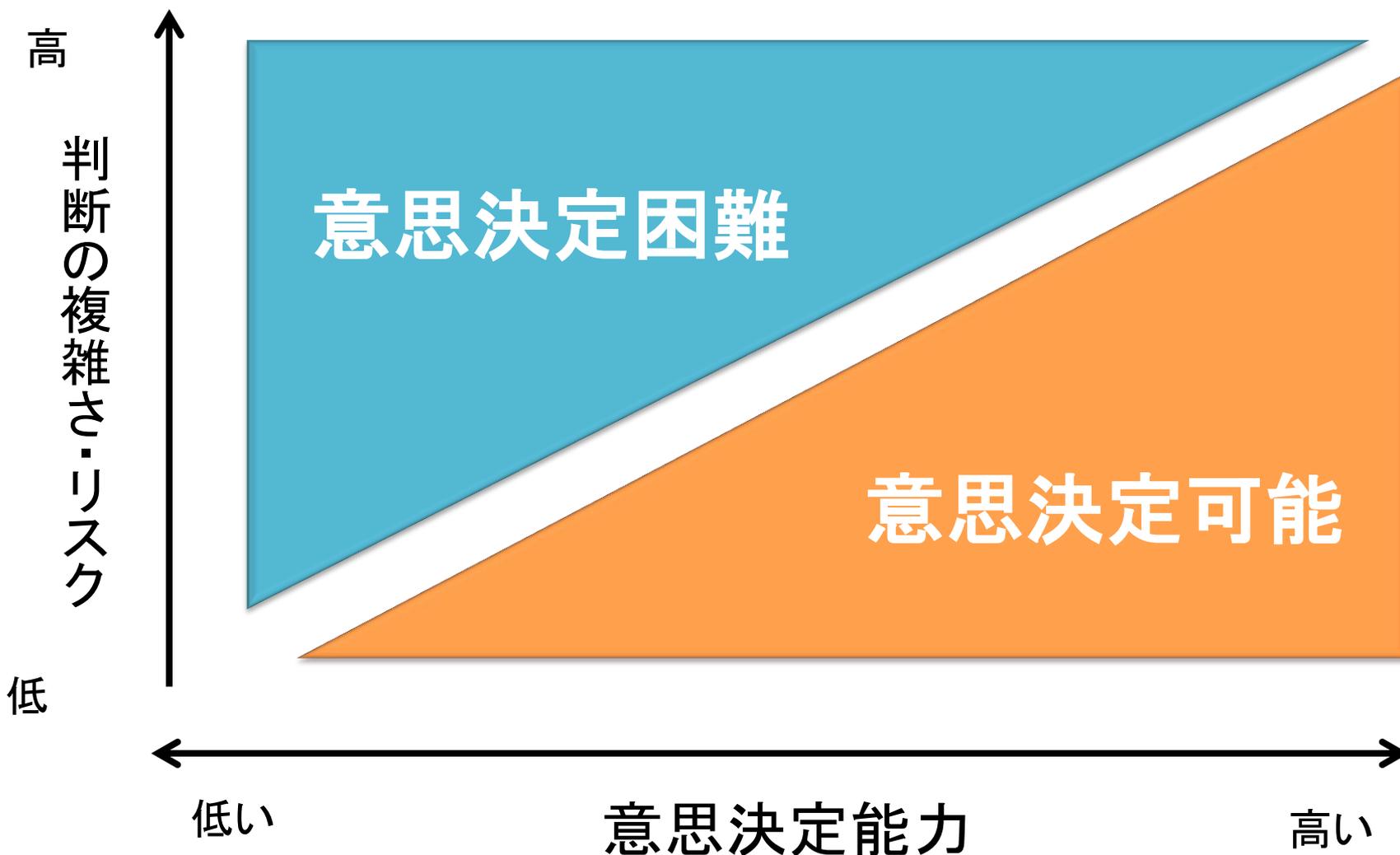


- どのようなニーズがある人なのかが企業に分かる
- 能力の低下に応じて安定して契約ができる
- 複数の企業が本人の希望に応じて個人情報共有できる

# 実務に必要な判断能力評価

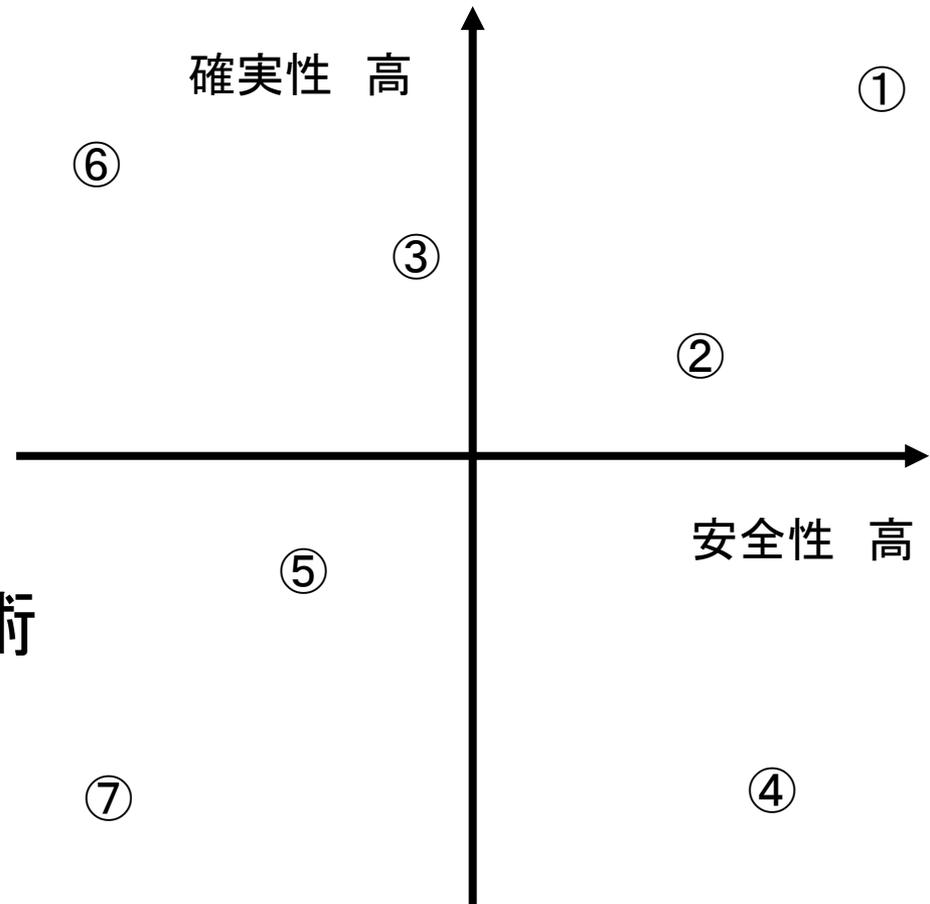
- 判断能力が保たれていることを証明する
- 判断能力に一部低下がある場合には、その程度を評価した上で、どのような内容であれば取引可能かを評価結果から判定する

# 「判断の複雑さ・リスク」と「意思決定能力」



# 治療内容による違い

- ① 予防接種
- ② 内服治療
- ③ 抗生剤点滴
- ④ 内視鏡検査
- ⑤ 抗がん剤治療
- ⑥ 大腿骨頸部骨折手術
- ⑦ 大腸がん手術



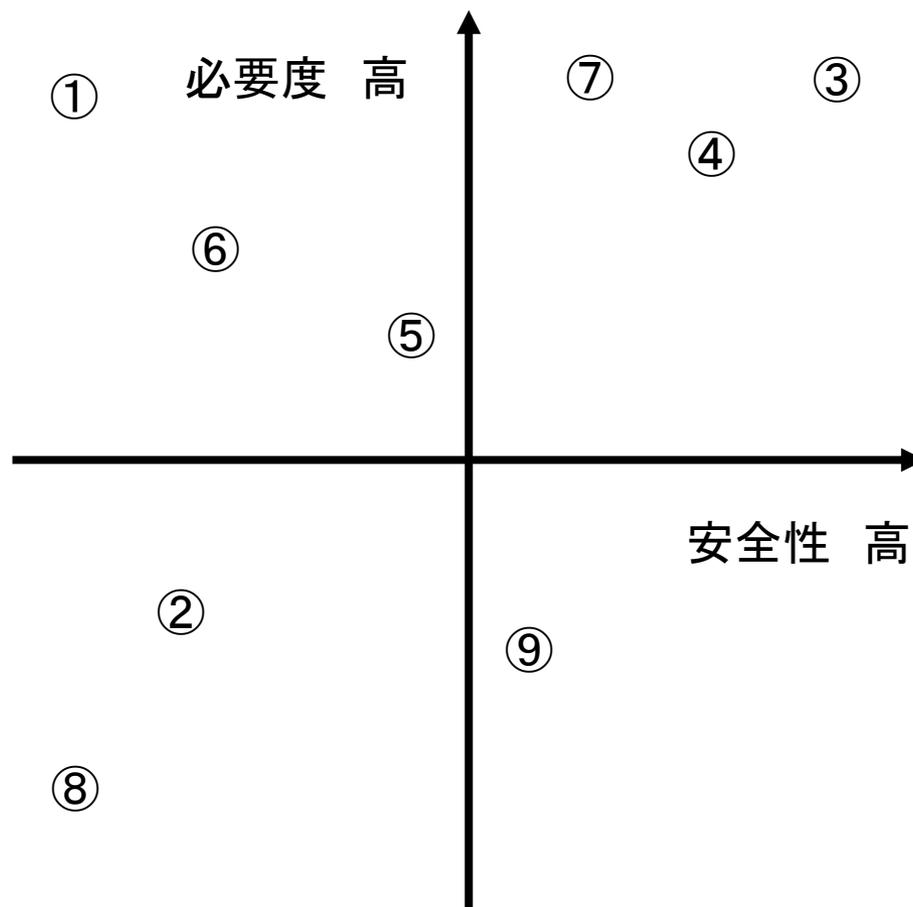
# 財産管理における種々の意思決定

- 財産管理能力

- ① 通帳の管理
- ② 不動産の売買
- ③ 遺産を受け取る
- ④ 日常の買物、公共料金

- 契約能力

- ⑤ 任意後見契約
- ⑥ 不動産の賃貸契約
- ⑦ 介護サービス契約
- ⑧ 金融商品の契約
- ⑨ 遺言能力



それぞれの業種で商品・サービスの種類により必要な手続きを整理

# 判断能力評価の手法

- 観察式チェックリスト
- 活動のモニタリング
- 認知機能検査(対面、アプリ)
- 契約そのものについての判断能力評価
- 医師の診断書

# 椎名・名倉式遺言能力観察式チェックリスト

<http://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2019/20190207.html>

<b>現在希望している遺言内容(どのような財産を、誰に分配するのか)について説明できる</b>	
1	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の自分の財産を把握している</li><li>・ 自分の推定相続人を把握している</li><li>・ 遺言内容に関する自己と取得者（推定相続人・受遺者）の関係性を把握している</li></ul>
<b>【遺言内容を変更する場合のみ】 当初の遺言内容(どのような財産を、誰に分配するのか)について説明できる</b>	
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 過去（当初の遺言作成当時）の財産を把握している</li><li>・ 過去（当初の遺言作成当時）の推定相続人を把握している</li><li>・ 過去（当初の遺言作成当時）の遺言内容に関する自己と取得者（推定相続人・受遺者）の関係性を把握している</li><li>・ 遺言内容のほかに遺言の方式も変更する場合は、その理由を説明できる 【※この項目は必須ではありません】</li></ul>
<b>現在希望している遺言内容により、推定相続人のうち特定の推定相続人の取り分を無いものとしたり、法定相続分より減らしたりする場合、その特定の推定相続人は誰か、本来受け取る分配からおおまかにどの程度減るのかを説明できる</b>	
3	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 現在の自分の財産を把握している</li><li>・ 自分の推定相続人を把握している</li><li>・ 推定相続人やその家族に対するこれまでの贈与状況や寄与分を把握している</li><li>・ 遺言内容に関する自己と取得者（推定相続人・受遺者）の関係性を把握している</li><li>・ 法定相続分について理解している</li><li>・ 遺留分について理解している</li></ul>
<b>自分の遺言内容によれば、誰と誰の間にどのような葛藤や緊張(感情的対立を含む)が生じる可能性があるのかを認識している</b>	
4	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 誰と誰の間に葛藤や緊張が生じる可能性があるのかを、一般論としてではなく自分に関する事柄として認識している</li></ul>

5	現在希望している遺言内容により、法定相続人のうち特定の相続人の取り分を無いものとしたり、法定相続分より減らす場合、なぜそのような分配にするのか、その理由となる事情を述べることができる	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が遺言をすることについて、自分のこととして考えて理由を述べられる（※理由の合理性は問わない）</li> </ul>	

6	なぜ遺言という方法を選択するのか、法定相続のままにしておく方法や生前贈与、養子縁組、パートナーと婚姻する方法など、他に検討できる方法と比較して、理由を述べるができる	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「他の選択肢とその結果」と「遺言とその結果」を比較した上で合理的に判断している</li> </ul>	

7	現在希望している遺言内容により、それぞれの相続人・受遺者について、メリットまたはデメリットのいずれが生じることになるか及びその内容を説明できる	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の自分の財産を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の推定相続人を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>推定相続人やその家族に対するこれまでの贈与状況や寄与分を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺言内容に関する自己と取得者（推定相続人・受遺者）の関係性を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定相続分について理解し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺留分について理解し、その情報を運用できる【※この項目は必須ではありません】</li> </ul>	

8	【遺言内容を変更する場合のみ】当初の遺言内容と比べて、それぞれの相続人について、どのようなメリットまたはデメリットが生じることになるかを説明できる	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の自分の財産を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の推定相続人を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺言内容の変更に関する自己と取得者（推定相続人・受遺者）の関係性を把握し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>法定相続分について理解し、その情報を運用できる</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺留分について理解し、その情報を運用できる【※この項目は必須ではありません】</li> </ul>	

9	表明された意思が二転三転することなく、一貫している	<input type="checkbox"/>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>遺言内容に関して表明された意思を複数回確認しても一貫性がある</li> </ul>	

## 基本チェックリスト

		No	質問項目	回答		得点	
暮らしぶりその1	}	1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ		
		2	日用品の買い物をしていますか	0. はい	1. いいえ		
		3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ		
		4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ		
		5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ		
					No. 1～5の合計		
運動器関係	}	6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ		
		7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がってますか	0. はい	1. いいえ		
		8	15分間位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ		
		9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ		
		10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ		
				No. 6～10の合計			
栄養・口腔機能等の関係	}	11	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少はありましたか	1. はい	0. いいえ		
		12	身長(      cm) 体重(      kg) (*BMI 18.5未満なら該当) *BMI(=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m))	1. はい	0. いいえ		
					No. 11～12の合計		
	}	13	半年前に比べて堅いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ		
		14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ		
		15	口の渇きが気になりますか	1. はい	0. いいえ		
				No. 13～15の合計			
暮らしぶりその2	}	16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ		
		17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ		
		18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか	1. はい	0. いいえ		
		19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ		
		20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ		
				No. 18～20の合計			
				No. 1～20の合計			
こころ	}	21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ		
		22	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ		
		23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ		
		24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ		
		25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ		
				No. 21～25の合計			

厚生労働省作成  
基本チェックリスト

# 改訂長谷川式簡易知能スケール

---

1. お年はいくつですか
2. 今日は何年の何月何日ですか？何曜日ですか？
3. 私たちが今いるところはどこですか？
4. これから言う3つの言葉を言ってください。後でもう一度聞くので覚えておいてください
5.  $100 - 7$ 、そこから7を引く
6. これからいう数字を逆から言ってください
7. 先ほど覚えてもらった言葉をもう一度いってください
8. 5つの物品の記憶
9. 野菜の名前をできるだけたくさんいってください

# EXIT25 実行機能に特化した評価法

EXIT	EXIT25 (1/9)
	<p><b>1. 数字・文字 課題</b></p> <p>「これから、私が言う数字と文字を聞いて下さい。」</p> <p>「1-あ、2-い、それでは、3の後に来る文字は何ですか？」</p> <p style="text-align: right;">「5」</p> <p>「では、数字の1から始めて下さい。私が止めて下さいと言うまで続けて下さい。」</p> <p style="text-align: right;">「1, あ, 2, い, 3, う, 4, え, 5, お」</p> <p>「止めて下さい。」</p> <p>&lt;得点&gt;</p> <p>0: 失敗なし</p> <p>1: 促しにより課題完了（または、教示を繰り返すことにより完了）</p> <p>2: 課題完了できない</p>
	<p><b>2. 語流暢性</b></p> <p>「私が今から一文字を言います。その文字で始まる単語を1分間で出来る限りたくさん言ってみて下さい。」</p> <p>「例えば、‘あ’で始まる単語なら‘あめ、あり、あいす、あし’などがあります。」</p> <p>「質問はないですか？」</p> <p>「それでは‘か’で始まる単語を言って下さい。」</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>&lt;得点&gt;</p> <p>0: 10単語以上</p> <p>1: 5-9単語</p> <p>2: 5単語未満</p>
	<p><b>3. デザイン流暢性</b></p> <p>「これらの図形を見て下さい（実際は被検者の横で描きながら説明）。それぞれは、4本の直線のみで構成されております。今から、1分間で、できるだけ多くのこれらと異なる図形を描いて下さい。ルールとしては、4本の直線だけで図形を描き、それぞれの図形は違う図形を描いて下さい。始めて下さい。」</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>&lt;得点&gt;</p> <p>0: 10個以上（例とは異なる）</p> <p>1: 5-9個</p> <p>2: 5個未満</p>

EXIT	EXIT25 (2/9)
	<p><b>4. 主題理解</b></p> <p>（被検者に絵を見せる）</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>「この絵の内容を説明して下さい。」</p> <p>&lt;得点&gt;</p> <p>0: 自然なストーリーを話す（ストーリー＝環境、3つのキャラクター、動作を含む）</p> <p>1: 一回の促しで話す（「他には？」）</p> <p>2: 促しても話せない</p>
	<p><b>5. 変則的な文の復唱</b></p> <p>「注意深く聞いて、私の言った言葉を同じように繰り返して言って下さい。」（普通の声量で文を読む）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「猿も木から」</li> <li>「犬も歩けば」</li> <li>「ちょうちょ ちょうちょ」</li> <li>「キラキラ光る」</li> <li>「あ い う え の か き」</li> </ol> <p>&lt;得点&gt;</p> <p>0: 間違いなし</p> <p>1: 1つ以上の変化を認める</p> <p>2: 1つ以上の表現を付け加える（例、「猿も木から落ちる」「キラキラ光る夜空の星よ」）</p>

# MacArthur Competence Assessment Tool – Treatment (MacCAT-T)

- 様々な疾患に関して、患者がその情報をどれほど理解し、自分の治療について決定できるか評価するための半構造化面接法

理解6点

認識4点

論理的思考  
8点

選択の表明  
2点

- 4領域のそれぞれの質問につき各0～2点の3段階で評価
- 得点が高い程、同意能力が高いことを示す
- カットオフ得点は設定されておらず、最終的には4領域の成績をふまえて総合的に判定する
- 所要時間は約20分

MacCAT-T

金融取引能力評価

疾患の特徴：

「それでは、〇〇さんの病気について、ど  
ういう病気であるかを説明して下さいま  
すか。」

取引内容の特徴について自分の言葉で  
説明してもらう

※以下、必要に応じて質問を追加

※取引の機能分類に応じて質問を追加

- ・なんという病気かは説明ありましたか？
- ・症状については何か説明ありましたか？
- ・脳については何か説明ありましたか？
- ・記憶については何か説明ありましたか？
- ・身の回りのことについては何か説明ありましたか？
- ・病気の経過はとなると説明がありましたか？

- 【増やす】場合
- 【備える】場合
- 【減す】場合

理解

治療のメリット・デメリット：

「それでは、〇〇さんのお薬を使った治  
療についての良い点と悪い点について、  
説明していただけますか。」

取引のメリット・デメリットについて  
説明してもらう

※以下、必要に応じて質問を追加

- ・薬の効果については何か説明ありましたか？
- ・【薬の効果が1つしか出ない場合】他に薬の効果についてはありましたか？
- ・薬の悪い点（副作用）については何か説明ありましたか？
- ・【薬の悪い点が1つしか出ない場合】他に薬の悪い点（副作用）についてはありましたか？

金融取引能力に置き換え  
た場合

診断書(成年後見用) (試案)

1	氏名 <span style="float: right;">男・女</span> 生年月日 明・大・昭・平 年 月 日生 住 所
2	医学的診断 診断名(暫定でも可)  現病歴(発症時期、経過、現在の状態と関連する合併症、既往症など)
3	診断の根拠となる検査所見(認知機能検査(長谷川式, MMSEなど), 画像検査結果など)
4	財産管理能力、及び日常生活能力とその認識 (周囲の助けを借りず一人で行う場合を想定して評価してください。ただし身体的な障害については補助があることを想定してください。) 1) 財産管理能力 <input type="checkbox"/> 日常的に必要な買い物ができない <input type="checkbox"/> 銀行でお金を引き出すことができない <input type="checkbox"/> 借金をしたり、株の売買や土地取引で損得の判断をすることができない <input type="checkbox"/> 財産管理能力に問題はない 2) 日常生活能力 <input type="checkbox"/> 食事の支度ができない <input type="checkbox"/> 介護保険の契約ができない <input type="checkbox"/> 公共料金の支払いができない <input type="checkbox"/> 日常生活能力に問題はない 3) 認識 <input type="checkbox"/> 財産管理や日常生活に不安があると訴えている
5	判定の参考となる具体的な生活状況 <span style="float: right;">情報提供者(氏名 続柄 )</span>
6	その他鑑定に関する意見 <input type="checkbox"/> 専門医による本鑑定を要する <input type="checkbox"/> 回復、または悪化の可能性があり定期的な再評価を要する

以上のとおり診断します。 平成 年 月 日

担当診療科名

病院又は診療所の所在  
所在 〒 -

担当医師氏名

印 名称

電話番号

## 財産管理能力、日常生活能力について報告するための診断書様式

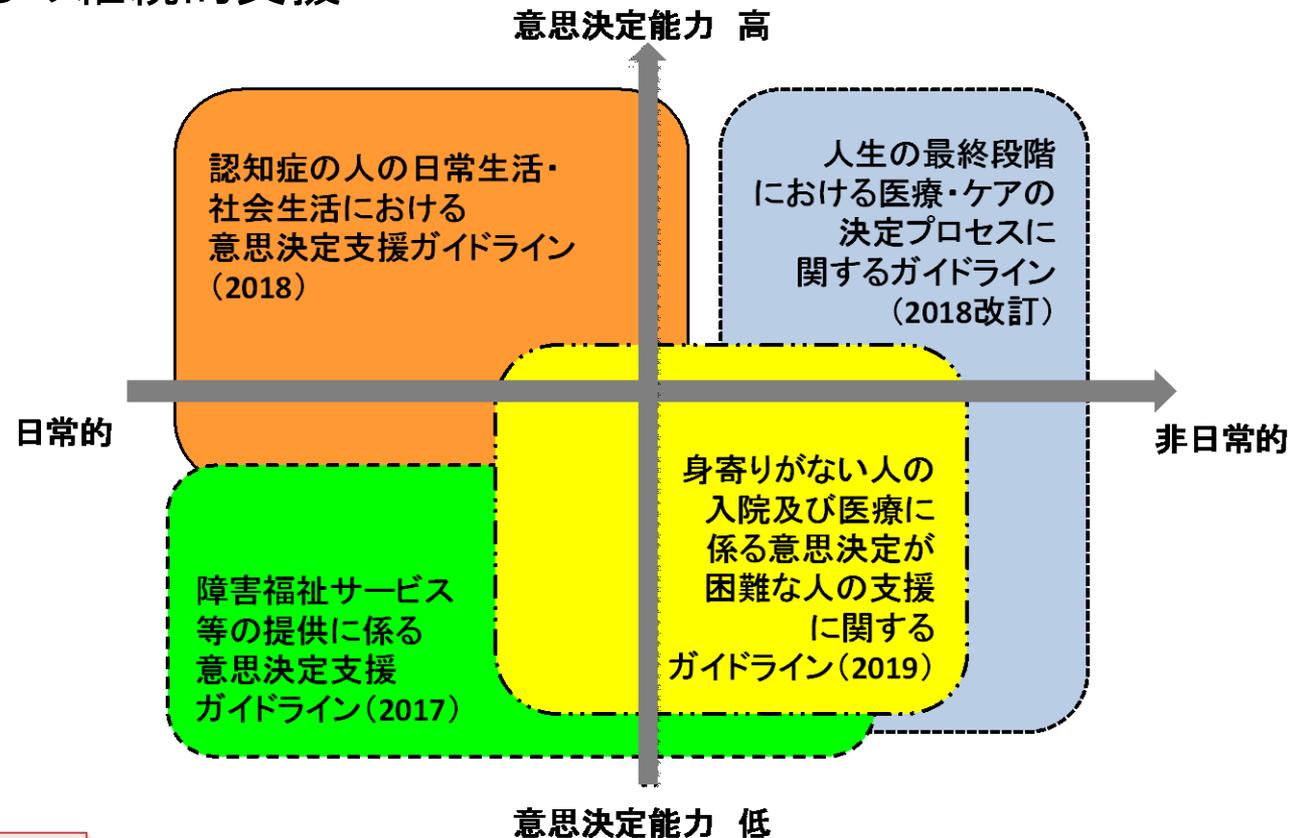
(成本, Dementia Japan, 2018)

# 意思決定支援ガイドライン

## 意思決定支援の中核的な考え方

- 本人の意思を尊重
- 本人の意思決定能力への配慮
- チームによる早期からの継続的支援

2020年度以降自治体で  
意思決定支援研修を実施



## 各ガイドラインの領域

# 公平な契約と意思決定サポートのために

1. 本人に丁寧に安心できる環境で契約内容を説明する
2. 他の人に相談したり、記憶力低下を補えるよう説明内容の資料を準備する
3. 契約能力確認にあたっては本人自身の言葉で契約内容を説明してもらい記録する
4. 契約能力の確認手順設定にあたっては契約内容の複雑さやリスクも考慮する
5. 高価な商品や損害のリスクがある場合は、複数で本人の理解や意向を確認する
6. 契約のプロセスが1～5の要件を満たしているかを確認する仕組みがある

# 意思決定サポートシステムと成年後見制度の比較 (小賀野・成本作成)

	意思決定サポートシステム	成年後見制度
対象	地域	全国
根拠・手続	民法及び民法特別法 要綱、条例 ガイドライン、マニュアル	民法及び民法特別法 家庭裁判所の審判(法定後見) 契約(任意後見)
支援	日常生活での意思決定 意思決定支援 地域の連携 例)日常生活自立支援事業	法律行為 代理権、同意権、取消権 成年後見人等、指定された者
家族	家族の意向・関与を尊重	家族は成年後見人等の候補者
判断能力	生活能力 意思疎通能力	意思能力 事理弁識能力
能力判定	財産管理、日常生活能力 対面と遠隔、ICT利用	財産管理 医師の鑑定・診断
支援時期	健康時から死亡まで 予防、事前・事後の支援	判断能力低下の判定後 事後の支援
医療契約	患者と医師の協働関係	双務契約、対向関係
医療同意	患者の意思 第三者の関与	患者の意思 成年後見人等に権限なし
個人情報	支援者間の共有 プライバシー保護	原則として本人の同意 プライバシー保護
公と私	公私協働における民法	私法としての民法
制度像	弾力性、柔軟性、個別性	堅実性、厳格性、統一性

# 意思決定サポートシステム構想 1

## 意思決定サポートシステム

● **地域**を対象



● **日常生活**での意思決定支援  
地域の連携

● **家族の意向・関与**を尊重

● **財産管理・日常生活能力**に関する能力判定



- **生活能力・意思疎通能力**はあるか？  
- **ICTを利用して**対面、遠隔での判定が可能

根拠：民法及び民法特別法、要綱、条例、ガイドライン、マニュアル、当事者間・連携者間の契約

## 成年後見制度

● **全国**を対象



● **法律行為の支援**  
代理権、同意権、取消権、成年後見等、指定された者

● **家族は成年後見人等の候補者**

● **財産管理に関する能力判定**



- **意思能力・事理弁識能力**はあるか？  
- **医師の鑑定・診断**

根拠：民法及び民法特別法、家庭裁判所の審判（法定後見）、契約（任意後見）

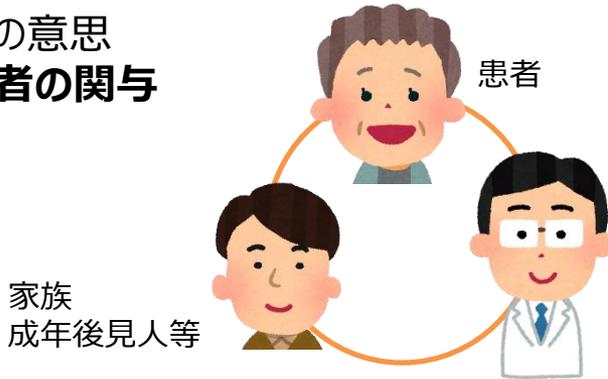
# 意思決定サポートシステム構想 2

## 意思決定サポートシステム

- 健康時から死亡まで幅広く支援
- 予防、事前・事後の支援が充実



- 医療契約は患者と医師の協働関係
- 患者の意思
- 第三者の関与



- 個人情報 は 支援者間で共有、プライバシー保護

公と私：公私協働における民法  
制度像：弾力性、柔軟性、個別性

## 成年後見制度

- 判断能力低下の判定後から支援
- 事後の支援



- 医療契約は双務契約、対向関係
- 患者の意思
- 成年後見人等に権限なし



- 個人情報の共有には原則として本人の同意、プライバシー保護

公と私：私法としての民法  
制度像：堅実性、厳格性、統一性

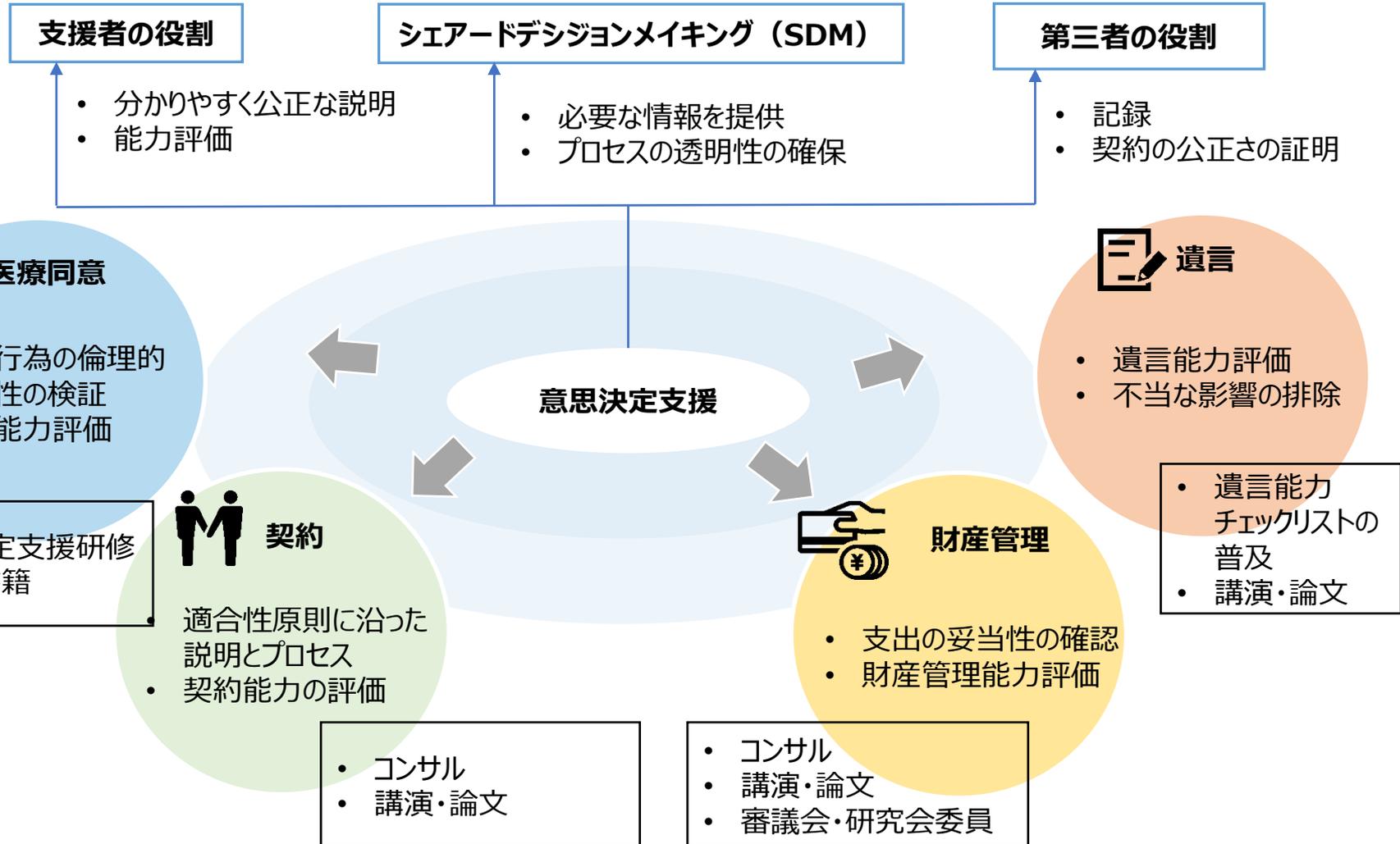


# 意思決定サポートセンター

DMSOJ

一般社団法人 日本意思決定支援推進機構

<https://www.dmsoj.com/>



ご清聴ありがとうございました